

山雲水月

発行責任者 龍源寺 住職 渡辺龍道

新聞で見る除夜会、大節分会



←毎日新聞 (除夜会)



↑毎日新聞 (大節分会)



→上毛新聞 (大節分会)

- 平成17年 龍源寺年間行事予定**
- 1/1 年頭祈禱
 - 1/3~1/4 年始挨拶
 - ※2/3 大節分会
 - ※2/15 涅槃会
 - ※3/14 大般若・大施食会
 - ※3月中旬 筆供養法要
 - 3/18~3/24 春季彼岸会
 - ※4/8 花祭り
 - 4/29 大施食会兼蚕影山例祭法要
 - 7/13~7/16 県外檀信徒棚経
 - ※7月下旬 第24回子ども禅の集い
 - 8/13~8/16 盂蘭盆会
 - 9/20~9/26 秋季彼岸会
 - ※12/8 成道会
 - ※12/31 除夜会
 - ※毎週土・日曜日 書道教室
 - ※毎週水曜日 定期坐禅会
 - ※隔週水曜日 梅花講稽古・華道教室
 - ※は本寺仁叟寺にて開催



→上毛新聞 (除夜会)



→産経新聞 (大節分会)



りゅうげんじじんそうじしゅさいほんざんさんぱいりょこう 龍源寺仁叟寺主催本山参拝旅行

当寺及び仁叟寺で日帰りの本山参拝旅行を企画しております。行き先は宗門の大本山であり、住職も平成11年から同13年の丸二年間、修行僧としてお世話になった神奈川県横浜市の本山總持寺ほか、金太郎伝説で有名な神奈川県足柄にある道了様で名高い大雄山最乗寺を日帰りで廻る予定であり

仁叟寺通信-12-



↑ 大菩提会より贈られた仏足石の前で

役員交代のお知らせ

今年4月29日（祝日みどりの日）に行われます施食會兼蚕影山御祈禱會に併せまして開かれる檀信徒總會にて下記役員さんが交代いたします。当寺ではその席上、委嘱状を授与し、護持会の運営及び寺院の興隆発展につきましてお力添えを願う次第であります。旧役員の皆様、お疲れ様でした。新役員の皆様、宜しくお願い申し上げます。なお、いづれも任期は二年間です。

松田地区 旧) 白田智志 → 新) 渡辺和孝 旧) 杉田 彰 → 新) 白田金二
多胡地区 旧) 田中忠男 → 新) 田中純示 旧) 神部 清 → 新) 小林信子
矢田地区 旧) 小林 茂 → 新) 金井勝美



↑ 大本山總持寺



↑ 大雄山最乗寺

ます。いずれも曹洞宗を代表する歴史と伝統のある古刹であります。

時期は現在のところ、まだ未定ではありますが、秋ごろになるかと思われま。また詳細は後ほど発表させていただきます。是非とも、この機

会に合わせまして、奮ってご参加くださるよう、宜しくお願い申し上げます。

去る1月26日、スリランカの大菩提会の日本支部

の会長であり、蘭華寺住職でもあるパナガラ・ウパティッサ老師が来寺いたしました。老師は仁叟寺住職の法友であり、その縁で仁叟寺境内にある大きな

仏足石がスリランカより贈られた経緯もあります。

蘭華寺の創建は平成元年（1989）で、千葉県佐原市にあります。また、大菩提会の日本支部も蘭華寺にあり、日本とスリランカの友好交流はもとより、仏教を通じた福祉活動や教育文化活動などさまざまな活動しております。

折りしも、昨年末のスマトラ沖大地震でスリランカは甚大な被害を被りました。仁叟寺でも微力なが

ら大菩提会に義援金を寄進いたしました。

蘭華寺HPは、<http://www.juriaweb.com/lankaji/> です。

龍源寺探索-10-

今回の龍源寺探索では、参道に佇む六地藏尊を取り上げます。寺院の入口や大きな共同墓所などには必ず六地藏尊が建立されており、地蔵菩薩の像を六体並べて祀った「六地藏」像が日本全国至るところに見られます。



たたず

↑ 龍源寺参道に 佇む六地藏尊

六地藏は仏教の六道輪廻の思想に基づき、六道のそれぞれを六種の地蔵が救うとする説から生まれたものであります。地蔵菩薩は、本来は如来になられるはずでしたが、「一斉衆生済度の請願を果たさずば、我、菩薩界に戻らじ」との決意でその地位を辞し、最も弱い立場の人々を最優先で救済する菩薩であると云われ、昔から一般庶民の尊崇が大変篤い仏様であります。

当寺の六地藏尊は僧形で材質は石造。江戸期の作と伝えられ、一体一体手にする宝物も違います。当寺にお越しの際には、六地藏尊にお参り下さい。

だいせいじきえ

こかげさんごきとうえ

當寺大施食會及び蚕影山御祈禱會告知

→ 蚕影山御祈禱札



ばいかこうほうえい

↑ 梅花講奉詠

前号でもお伝えしましたが、当寺恒例の大施食會及び蚕影山御祈禱會が4月29日（祝日、みどりの日）に行われます。また例年と同じく、檀信徒總會も併せて行わせていただきます。今年は特に龍源寺を創建し

た江戸期の旗本・門奈六左衛門氏の末裔、窪田広氏が歴史を題材とした講演を行ってくださいます。例年通り、来られた方全員に記念品も用意してございます。是非とも、宜しくご参集のほどお願い申し上げます。

また、今年も昨年同様、法要の際に龍源寺仁叟寺梅花講の奉詠がございまして。今回は特に龍源寺檀信徒として初めて田中さんが加わってくださいました。当梅花講の稽古は月二回で場所は仁叟寺檀信徒會館で行っております。引き続き講員の方も募集しております。入会希望の方は、龍源寺もしくは仁叟寺までお問い合わせ下さい。

檀信徒總會では、住職挨拶、総代長挨拶のほか昨年度寄付者表

彰、新任役員委嘱状授与なども行います。該当なさる方には改めて通知が行くかと思われませんが、宜しくご臨席ください。また、昨年7月末に誕生した長男・哲道も紹介さ

せていただこうと思っております。

法要及び總會が終了いたしましたら、長屋門檀信徒會館にて会食をご用意させていただきます。会食代は1名まで無料、1名追加ごとに1,000円をいただいております。準備にあたり人数

平成16年度寄付者一覧 (敬称略)



爲山田仁家石塔開眼供養

けんぼんてがきじゅうさんぶつかけじく

← 絹本手描十三佛掛軸 東京 山田仁



爲慈徳院勤法庄禅居士位
一周忌菩提提供養

爲中曽根美江家石塔開眼供養

しゅぬりもくせいこうだい

← 朱塗木製香台 東京 白田良一
矢田 中曽根美江



爲新井岩雄家新入檀及び石塔開眼供養

けやきせいりっかくもくぎょおきだい

榿製六角木魚置台 多胡 新井岩雄



↑ 爲小金澤家石塔開眼供養

めつきしんちゅうせいえこうろ

鍍金真鍮製柄香炉 埼玉 小金澤弘

野菜、漬物沢山 多胡 杉田彰



爲白田金二家石塔開眼供養

しろみかげいしせいきゅうけいよう

白御影石製休憩用ベンチ 多胡 白田金二

行雲流水 (編集後記)

編集人 住職 渡辺龍道

今年で龍源寺住職に晋山して早いもので4年目になります。蚕影山の移転や寺域の整備など、檀信徒の皆さん、地域の皆さんはじめ縁のある方々の協力を受け、何とか手探りで行ってここまでできたのかと思っております。

私事でも就職、退職、結婚、長男誕生と環境が目まぐるしく変化いたしました。長男の哲道も既に8ヶ月。元気に育てております。

さて、来る4月29日は恒例の当寺大施食會及び蚕影山御祈禱會。当寺開基門奈氏の末裔の窪田広氏をお迎えしての講演も企画しております。皆様の奮ってのご参加をお待ち申し上げます。



↑ 満開の彼岸桜 (昨